

## 防犯 DIG < 空き巣の防止 > シナリオ

テーマ	内 容	画面
DIG とは？	<p>DIG (ディグ) は、参加者が地図を使って防災対策を検討する図上訓練です。</p> <p>DIG という単語は、Disaster (災害)、Imagination (想像力)、Game (ゲーム) の頭文字を取っており、別に「掘る」、「探求する」という意味を持つ英語の動詞でもあります。「防犯 DIG」はこの図上訓練を「防犯」に応用したワークショップの手法です。</p> <p>防犯 DIG は、参加者が大きな地図を囲み、みんなで書き込みを加えながら、楽しく議論を進めていきます。その中で参加者は、地域に起こるかもしれない犯罪を、より身近なものとしてとらえることができるでしょう。比較的簡単な準備と安価な経費で気軽に取り組むことができるのも魅力です。</p> <p>キーワードは「人を知り、まちを知り、犯罪を知る」です。初めて参加した者同士のコミュニケーションから、地域の情報を共有し、自分達の住むまちでの安全・安心について理解を深めていきます。</p>	1 2 3
DIG のルール	<p>DIG には堅苦しい決まりのようなものではありません。楽しく、自由にかつ活発に意見を交換できる雰囲気をお互いにつくるよう意識することがルールとも言えます。その意味で相手の意見をまず聞くということが大切です。そして、ただ傍観者とならず、また人の意見を非難したり否定したりせず、どんどん新たな意見を延べましょう。</p>	4
図上訓練 (DIG) を始める前に	<p>楽しみながらざっくばらんに意見を出し合うことが DIG の重要なポイントです。初めて顔を合わせる参加者も多いことから、DIG を始める前に発言しやすい雰囲気づくりをすることが必要です。各班の参加者同士で自己紹介をしてください。また、議論をスムーズに進めるため、進行役である「リーダー」と、出された意見を記録する「書記」を決めましょう。</p> <p>最後に皆さんの意見を発表していただきますので、リーダーを中心に活発に意見を交換しましょう。</p>	5
DIG の進め方	<p>具体的な事例を想定して皆さんで議論を進めていきます。自分自身の防犯意識や、どんな対策があるかが議論の過程で明らかになってきます。</p>	6

テーマ	内容	画面
ケース	<p><b>【設定】</b>  初夏・平日のある日・午後 1:00・天候:曇り  自宅から外出しようとしたところ・・・  見知らぬ男性（年齢30歳くらい・身長170cmくらい・作業服風の服装）が隣の家をうろつき、時折生垣の間から敷地内を覗き込んでいます。  その時あなたはどうしますか？</p>	7
考察のポイント 1	<p>～地域の一員としての防犯意識～</p> <p>○最も多い泥棒が犯行をあきらめる理由は？  <b>近所の人に声を掛けられた・ジロジロ見られた</b>  泥棒は捕まることをいつも警戒しているので、ジロジロ見られることを嫌います。</p> <p>○泥棒が地域住民のモラルや連帯感を見るポイントは？  <b>指定日以外にゴミが出ているかどうか</b>  指定日以外にゴミが出ているような地域では、泥棒に「仕事がやりやすい」と安心感を与えてしまいます。逆にゴミの日がちゃんと守られ、ゴミが出ていない地域で、街の人たちにジロジロ見られたり、あいさつをされたりすると、「通報されるかも」という心理が働き犯行をあきらめます。</p> <p>○泥棒が入りにくいまちづくりとは？  ・泥棒が入りにくいまちづくりとは、地域の人達が社会のルールをまもり、良好なコミュニケーションをもつことで犯罪の起こりづらい環境を作ることです。  ・例えば知らない人が自分達の住む町を歩いていたら「こんにちは、どなたの家をお探しですか？」などと声を掛けてみましょう。  ・空き地や公園も下見や隠れ場所に利用されます。維持・管理について地域で話し合い、雑草や樹木が見通しを妨げないような工夫が必要です。</p>	8
考察のポイント 2	<p>～個人としての防犯意識～</p> <p>○泥棒が空き巣に入る家を下見するときのポイントは？  <b>(1)家の人留守かどうか</b>  郵便受けの新聞がたまっている  雨戸やカーテンが閉まっている  日が暮れても玄関や室内の電灯が消えている・洗濯物が干してある  インターホンで呼んでみて返事がない</p>	9

テーマ	内 容	画面
考察のポイント 2	<p><b>(2)入りやすい家か・逃げやすいかどうか</b></p> <p>植木等、死角となるものがあるか            犬がいるか            脚立やバケツなど足場となる物があるかどうか            窓のクレセント錠の位置は開けやすいところにあるか            防犯照明やブザーなど防犯設備があるか            駅や幹線道路から近いか            通行人が多いか・周囲の人から見られやすいか</p> <p><b>窓</b>            鍵がかけられていても、ガラスを割って侵入します。掃き出し窓が植木やブロック塀で見通しが悪いと、最も侵入されやすい場所といえます。ガラス破壊感知センサー・補助錠・頑丈な面格子を取り付けましょう。防犯ガラスへの取替えや特殊フィルムを貼るなど窓を強化するのも有効です。</p> <p><b>玄関</b>            ・ひとつのドアに2つ以上の錠を付ける「ワンドア・ツーロック」は侵入時間が2倍かかり泥棒は嫌がります。補助錠は防犯対策用の「CPマーク」錠が有効です。            ・泥棒は隠してある合鍵を探して侵入します。玄関先の植木鉢の下や、ポストに鍵を隠しての外出はやめましょう。</p> <p>○多い侵入方法は？  <b>窓ガラスを破り、手を差し込んでクレセントを外す。</b>            ドライバー1本あればガラスを割り、手を差し込んでクレセント錠を外し侵入します。補助錠を付けておくと窓に侵入するための時間がかかり効果的です。1箇所侵入するのに10分以上かかると、ほとんどの泥棒があきらめます。特に一戸建て住宅では、1階部分の窓に、マンションでは各階のベランダ側の窓に取り付けると効果的です。            ・ピッキング・バールやプライヤーでのこじ開け・ドアのサムターン回しなどの被害が多く見られます。            ・足場にして2階から侵入されない位置にカーポートを設置しましょう。</p> <p><b>(3)短時間での犯行が可能か</b>            ○泥棒の犯行にかかる時間は？  <b>5分～15分</b>            ちょっとした買い物やゴミ出し程度でも必ず鍵をかけるようにしましょう。泥棒は15分で犯行を終えてしまいます。</p>	9

テーマ	内 容	画面
考察のポイント 2	<p>○泥棒が物色しやすいところは？</p> <p><b>たんすの引き出し</b> 泥棒常習犯は物色時間を短縮するため下の引き出しから順に物色していきます。</p> <p><b>冷蔵庫・仏壇</b> 安心のように思えますが被害の多い物色箇所です。財布や印鑑・通帳等は分けて保管するのが安全です。定期的に保管場所を変更するのも効果的です。</p>	9
まとめ	<p>本日話し合ったことを元にみんなでまちを歩き、点検した内容を整理して改めて安全マップをつくり、まちづくりの計画や提案をまとめてみましょう。その内容を踏まえて「すぐに改善できること」、「長期的に取り組むこと」を話し合い、自分たちでできることをみんなで考えてみましょう。</p> <p>例・街灯が不足している住宅地での玄関灯・門灯の点灯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロールの実施</li> <li>・公園における樹木伐採・花壇の管理など人が集まる仕掛けづくり</li> <li>・声掛け運動の実施</li> </ul>	10